まなび部模試　社会　第1回

注意

1. 試験時間は **45分**、100点満点です（1問5点 × 20問）。
2. 答えは すべて **答案用紙** に書きなさい。答案用紙には 名前を 忘れずに 書きなさい。
3. 「漢字で」などの 条件が ある 問題は、条件に したがって 答えなさい。
4. 作戦の例：まず 30分で 全体を 1周（時間が かかりそうな 問題は とばす）→ 残り15分で もどって けんざん。

1　日本の 工業の 特色について 答えなさい。

(1)　第2次世界大戦の 前に、日本で 中心だった 工業を 何といいますか。

(2)　いろいろな 製品に 使われる 半導体は「産業の【　　】」と よばれます。【　】に あてはまる 語は 何ですか。

(3)　関東地方の 南部から 北九州まで、工業が 集中している 太平洋岸の 地域を 何といいますか。

(4)　工場が 海外に うつり、国内の 工業が おとろえる ことを、産業の 何といいますか。

2　自動車工業について 答えなさい。

(1)　1980年代、日本から アメリカへの 自動車輸出が ふえて、日米の あいだで おきた 問題を 何といいますか。

(2)　必要な 部品を、必要な ときに、必要な 数だけ 届ける しくみを 何方式と いいますか。

(3)　自動車工場が もっとも 多い 県は どこですか。

(4)　水素と 酸素を 反応させて 発電し、水だけを 出す 自動車を 何といいますか。

3 鉄鋼業と 化学工業について 答えなさい。

(1) 鉄鉱石の 輸入先 第1位の 国は どこですか。

(2) 高炉で 鉄鉱石を とかして できる 鉄を 何といいますか。**漢字で** 答えなさい。

(3) 製鉄所が 太平洋や 瀬戸内海 ぞいの 臨海部に 多い 理由を、かんたんに 書きなさい。

(4) 原料から 製品までの 工場が パイプラインで 結ばれた 工場の 集まりを 何といいますか。

4 工業資源と エネルギーについて 答えなさい。

(1) 国内で 100% まかなう ことが できる 資源は 何ですか。

(2) 1960年代、エネルギーの 中心が 石炭から 石油に 変わった ことを 何といいますか。

(3) 日本が 原油を 輸入する 国の 多くが 面している 湾を 何といいますか。

(4) 太陽光・風力・地熱 など、なくならず 環境に やさしい エネルギーを 何といいますか。

5 次の 資料を 見て 答えなさい。

資料A　工場の 数の わりあい：中小工場 98.4%・大工場 1.6%（2022年）
資料B　生産額の わりあい：中小工場 47.1%・大工場 52.9%（2022年）
資料C　発電の わりあい：1950年 水力 81.7%・火力 18.3%　／　2022年 水力 8.4%・火力 74.7%・原子力 5.5%・風力や太陽光など 11.9%

(1)　資料Aで、中小工場は 工場の 数の 何% ですか。

(2)　資料A・Bから、1つの 工場あたりの 生産額が 大きいのは、大工場と 中小工場の どちらですか。

(3)　資料Cで、1950年に もっとも 多い 発電は 何ですか。

(4)　資料Cで、2022年に もっとも 多い 発電は 何ですか。